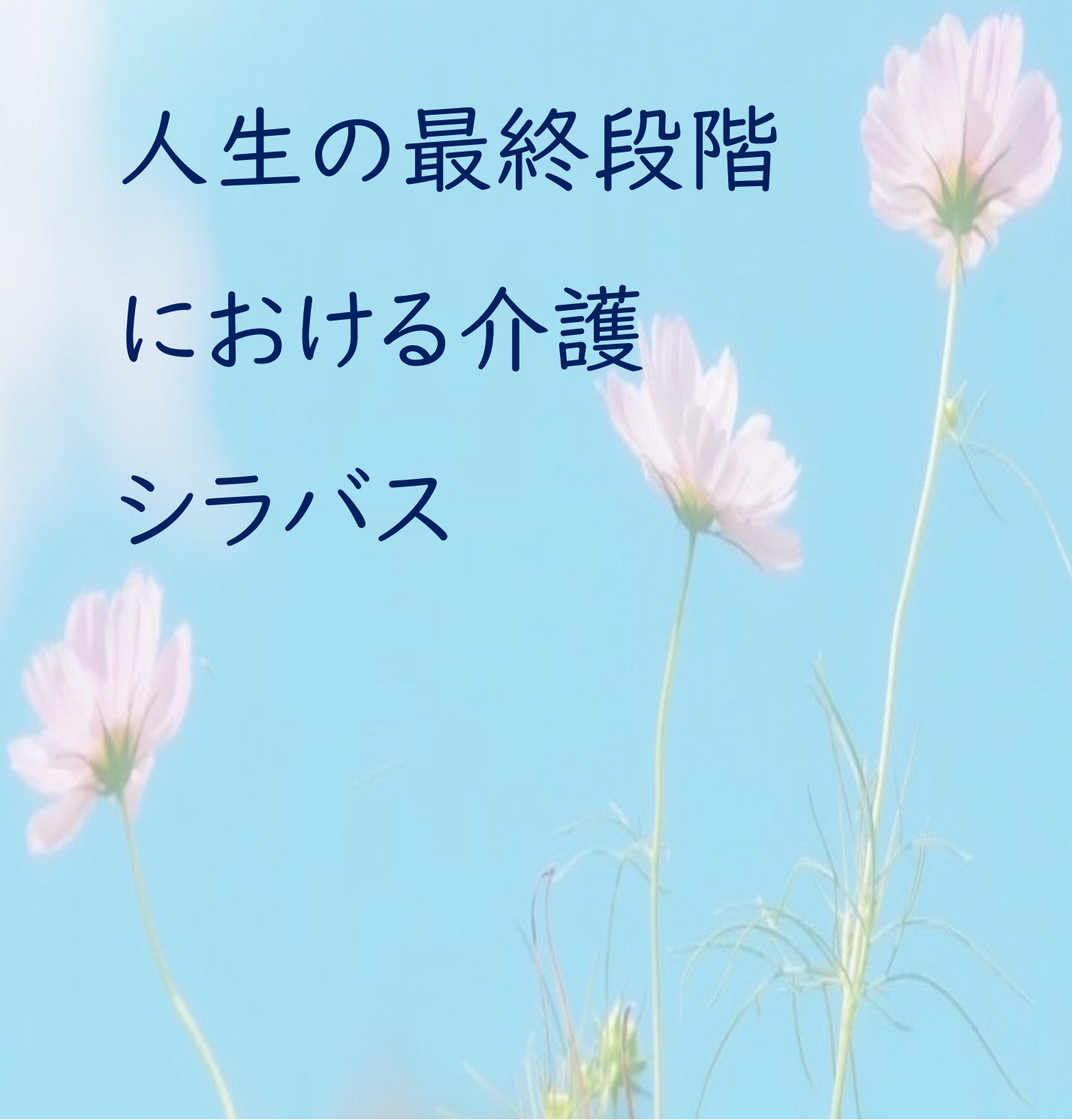


生活支援技術

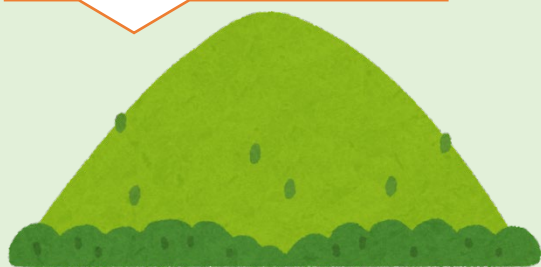
人生の最終段階
における介護
シラバス



一つ一つ学習していきながら課題を達成し、最期まで本人らしく生きることを支える介護ができる介護福祉士を目指していきましょう！

メ イ ン テ ー マ

最期まで本人らしく生きることを 支える介護



単元5

人生の最終段階を支えるための
基本となる知識と技術

単元6

家族・介護職が「死」を
受容する過程

単元4

人生の最終段階にある人の介護の視点と留意点

単元3

文化・社会的意義

単元2

人生の最終段階とは？

単元1

自分の死生観を知る



生活支援技術

人生の最終段階における介護の学びへのご招待



- この科目では、参加した皆さんが、受講後に利用者さんに対して「**最期まで本人らしく生きることを支える介護**」を行えるようになることを目指します。
- 戦前は、地域の相互扶助によって看取りが行われていましたが、その後都市化が進み、家族構成に変化が現れ、家族の介護力不足等様々な要因により、死が身近なものでなくなり、家族は看取り方がわからないということが起こっています。徐々に介護施設での看取りも増えてきています。重度な要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、質の向上も含めた看取り介護が介護福祉士には求められています。
- 授業は演習を中心に、学生みんなで協力し合いながら進めていきます。**自分の死生観**について考えたり、**歴史的背景**から看取り介護の必要性について学んだり、**人生の最終段階を支えるための基本となる知識と技術**を習得したりします。

ぜひ一緒に楽しく、学びましょう！



皆さんの学びをお手伝いする橋本です。

橋本 萌子（はしもと もえこ）

介護老人保健施設や特別養護老人ホームにて介護福祉士として勤務後、認知症介護研究・研修東京センターに勤務。

研究分野は高齢者福祉・看取り介護・認知症ケアです。

趣味はディズニーランドやディズニーのコンサートに行ったり、おいしいもの（お寿司・焼肉・甘いもの全般）を食べたりすること。

皆さんと共に学んでいけたら嬉しいです。





授業の目標

- ①生きることを支える介護実践について理解する。
- ②看取り期から看取り後までの介護福祉士の役割について理解する。
- ③根拠に基づいた看取り介護の基本的技術を習得し、一人一人に合わせた看取り介護を実践できる。
- ④他職種と連携し、看取り介護を行うことができる。

授業における達成課題

- ①どのように生きることを支えるか考えることができる。
- ②看取り期から看取り後までの介護福祉士の役割を説明できる。
- ③根拠に基づいた看取り介護の基本的技術を習得できる。
- ④他職種との連携の視点を理解し、他職種に利用者の状態を客観的に説明できる。

学習の評価

- この科目は、出席回数や毎回の授業の提出物、小テスト、実技試験、最終回の筆記試験で評価します。
 - ・ 出席：20%
 - ・ 提出物・実技評価：20%
 - ・ 小テスト：20%
 - ・ 筆記試験：40%
- 最終回の筆記試験は、以下の基準で採点します。
 - ・ 生きることを支える介護実践について理解しているか
 - ・ 看取り期から看取り後までの介護福祉士の役割について理解しているか
 - ・ 根拠に基づき、一人一人に合わせた看取り介護の実践について理解しているか
 - ・ 他職種との連携について理解しているか
 - ・ 文字数制限を満たしているか
- 上記の割合で評価し、C 以上は単位を認定します。
 - A：100～85「単位認定」
 - B：84～70「単位認定」
 - C：69～60「単位認定」
 - D：59 以下「単位認定不可」





- 提出課題・小テスト・筆記試験の内容は以下のとおりです。詳細は、各授業で説明します。
 - 毎 回：授業後にリアクションペーパーを提出
 - 第3回：人生の最終段階において、医療だけではなくケアも必要とされるのか授業開始前までにレポートを作成する。
 - 第4回：看取りの歴史や日本の人口や将来推計についての小テストを実施する。
 - 第5回：看取る場所の変化についての小テストを実施する。
 - 第6回：授業開始前までに自分が大切にしていることや望む医療・ケア等について考え、ワークシートを記入する。
 - 第7回：意思決定支援プロセスについての小テストを実施する。
 - 第12回：実技試験（臨終時のケア）を実施する。
 - 第14回：授業開始前までに事例を読み、本人の死後、家族に及ぼす身体的・精神的影響や必要とされる支援は何か各自考えレポートを作成する。
 - 最終回：介護福祉士に求められる看取り介護の実践について1000字以上でレポートを作成する。
- 実施場所
この科目は、すべての回において 介護技術演習室 で実施します。
- このシラバスの使い方
 - ・ 授業の詳細を記載していますので、毎回の授業が始まる前に読み、授業の準備や予習に役立ててください。
 - ・ 各回の右横にあるオレンジ色の四角には、授業が終わった後にその授業の達成課題をどのくらい達成したと思うか、1（できていない）～5（できた）の当てはまる数字を記入してみてください。





単元1 死生観について

☆第1回テーマ：自分の死生観を知る☆

日時：11月11日(木)13:00~15:00

持ち物：シラバス、筆記用具

学習目標：命の尊さについて考える。自分の死生観を知り、また様々な死生観があることを理解する。

達成課題：自分の死生観を知り、他者と意見交換する中で様々な死生観があることを理解できる。

内容：①教員の自己紹介とシラバスに基づいて当科目の内容を説明します。

②NHK スペシャル「彼女は安楽死を選んだ」を視聴し、感じたことについてA4 1枚以内でレポートを作成してみましょう。

③作成したレポートをもとにグループに分かれて意見交換を行ってみましょう。

※レポートとリアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

達成課題の達成度

単元2 人生の最終段階とは

☆第2回テーマ：看取りを行った家族・介護福祉士の経験☆

日時：11月18日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：家族が看取り後までに経験したことや感情を知り、介護福祉士に求められることを説明できる。

達成課題：家族が看取り後までに経験したことや感情を聞き、介護福祉士に求められることは何か、説明できる。

内容：施設で看取りを行った家族・介護福祉士をゲストスピーカーとしてお招きし、経験を話してもらいます。お話を聞いた後、介護福祉士に求められることは何か個人で考えワークシートに記入し、グループで意見交換を行ってみましょう。

※ワークシートとリアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

達成課題の達成度

☆第3回テーマ：人生の最終段階におけるケア☆

日時：11月25日(木)13:00~15:00

持ち物：事前に作成したレポート、筆記用具

学習目標：人生の最終段階において、医療だけではなくケアが重要となることを理解する。

達成課題：人生の最終段階にケアを行う意味について理解できる。

内容：人生の最終段階において、医療だけではなくなぜケアも必要とされるのか、事前にレポートを作成しておいてもらいます。授業では、作成したレポートに基づき、グループ内で発表・意見交換を行ってみましょう。

※事前に作成したレポートとリアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

達成課題の達成度



単元3 文化・社会的意義

☆第4回テーマ：看取りの歴史・多死社会☆

日時：12月2日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：1870年代から現代までの看取りの変遷について学習し、看取りの社会的意義を理解する。また、日本の人口、死亡数・死亡率の推移と将来推計について学習し、今日的課題や看取り介護の必要性について理解する。

達成課題：①1870年代から現代までの看取りの歴史について理解する。

②日本の人口、死亡数・死亡率の推移と将来推計を理解する。

内容：①グループごとに1870年代から現代までの看取りの変遷について考えワークシートを記入してみましょう。その後、講義を行います。

②日本の人口、死亡数・死亡率の推移と将来推計についての講義を受けた後、グループに分かれて日本の今日的な課題を考えてみましょう。

※授業の最後に小テストを実施します。

※ワークシートとリアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

達成課題の達成度

☆第5回テーマ：看取る場所の変化☆

日時：12月9日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：看取る場所が変化していることを学習した上で、介護福祉士には看取りケアを担っていくことが必要とされ、その質の向上も含めて求められていることを理解する。

達成課題：看取る場所が変化していることを理解できる。

内容：第4回において看取りの歴史について学習した上で、看取る場所はどのように変化しているか各自考えてみましょう。その後、講義を行います。

※授業の最後に小テストを実施します。

※リアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

達成課題の達成度



単元4

人生の最終段階にある人の介護の視点と留意点

☆第6回テーマ：人生会議をしよう☆

達成課題の達成度

日時：12月16日(木)13:00~15:00

持ち物：事前に作成したワークシート、筆記用具

学習目標：自分の希望や価値観を話し合っておくことについて理解する。

達成課題：自分の意思を伝えることが難しい人への医療・ケアについて、本人・家族・介護福祉士等の立場から考えることができる。

内容：①授業開始前までに、自分が大切にしていることや望む医療・ケア等について考え、ワークシートを記入してきてもらいます。

②授業では、ワークシートを基にグループに分かれ、人生会議を体験してみましょう。その後、ACPについての講義を行います。

※リアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

☆第7回テーマ：意思決定支援☆

達成課題の達成度

日時：12月23日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：意思決定支援プロセスについて理解し、具体的な方法を説明できる。

達成課題：①意思形成支援・意思表示支援・意思実現支援について理解し、具体的な方法を説明できる。

②人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインについて理解する。

内容：①意思決定支援のプロセスについての講義を踏まえ、具体的な方法を各自考えた後、ペアになって実践してみましょう。

②人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインについて講義を行います。

※授業の最後に小テストを実施します。

※リアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。



単元5

人生の最終段階を支えるための基本となる知識と技術

☆第8回テーマ：死にゆく過程を疑似体験する☆

達成課題の達成度

日時：1月6日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：死にゆく過程における利用者の感情変化を自ら疑似体験し、本人・家族等の揺れ動く気持ちを理解する。

達成課題：死にゆくプロセスが進むことによる感情の変化を理解する。

内容：学生全員で5色カード法というものを実施します。

①5色のカードを5枚ずつ配りますので、1枚に1つずつ自分の大切なものを記入してみましょう。その後、教員が読む物語を聞きながら、途中でカードを手の届かないところに投げ捨てたりしていく中で、死にゆく過程を疑似体験してみます。

②最後にグループワークを行い、感想などを共有します。

※リアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

☆第9回テーマ：臨終に向かうプロセス☆

達成課題の達成度

日時：1月13日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：臨終に向かうプロセスや本人・家族等への支援の在り方を理解する。

達成課題：臨終に向かうプロセスを理解できる。

内容：臨終前に向かうプロセスについて事例を用いながら講義をします。その後、本人や家族が抱く感情や思いを想像し、グループで発表・意見交換してみましょう。

※リアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

☆第10回テーマ：トータルペインとは？☆

達成課題の達成度

日時：1月20日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：トータルペインを理解した上で、本人らしさを大切にしたい苦痛を和らげるケアについて理解する。

達成課題：①トータルペインとは何か理解できる。

②利用者を病気の側から捉えるのではなく、本人らしさを大切に、本人・家族・社会生活等の側面から苦痛を和らげるケアについて理解できる。

内容：①トータルペインについての講義を行います。

②事例を読み、利用者が抱えている苦痛について考えワークシートを記入した後、グループに分かれて意見交換してみましょう。

※ワークシートとリアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。



☆第11回テーマ：根拠に基づく基本的技術①☆

達成課題の達成度

日時：1月27日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具、ジャージなど動きやすい服装

学習目標：根拠に基づいた基本的技術を習得し、一人一人に合わせた看取り介護を実践できる。

達成課題：①根拠に基づいた基本的技術を習得できる。(心理的支援、本人・家族への説明、同意、安楽の技法、身体的苦痛の緩和、環境整備)

②臨終時のケアを習得できる。

内容：①事例を読み、これまで学習したことを踏まえ、本人・家族等への声掛けや必要な環境整備を考えてみましょう。

また、DVDを視聴し教員の見本を見た後、ペアになり、利用者役・介助役に分かれ、これまで学習した基本的な生活支援技術を活かしながら、安楽な体位変換・衣服の着脱・排せつ介助・食事介助・口腔ケアを実践してみましょう。

②教員の見本を見た後、ペアになり、人体模型を使って臨終時のケアを実践してみましょう。

※リアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

☆第12回テーマ：根拠に基づく基本的技術②(実技試験)☆

達成課題の達成度

日時：2月3日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具、ジャージなど動きやすい服装

学習目標：根拠に基づき、臨終時のケアを実践できる。

達成課題：臨終時のケアを実践できる。

内容：第11回で学んだことを活かして、人体模型を使い、臨終時のケアを実践してみましょう。

※リアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

☆第13回テーマ：他職種連携☆

達成課題の達成度

日時：2月10日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：他職種と連携し、看取り介護を行うことができる。

達成課題：他職種との連携の視点を理解し、他職種に利用者の状態を客観的に説明できる。

内容：①他職種との連携の視点について講義を行います。

②事例を読み、医療職への報告内容を考え、ペアになって報告し合ってもらいます。

※リアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。





単元6

家族・介護職が「死」を受容する過程

☆第14回テーマ：グリーフケア☆

達成課題の達成度

日時：2月17日(木)13:00~15:00

持ち物：事前に作成したレポート、筆記用具

学習目標：本人の死後、家族等に及ぼす身体的・精神的影響や必要な支援を理解する。

達成課題：本人の死後、家族等に及ぼす身体的・精神的影響を理解し、必要な支援を考えることができる。

内容：授業開始前までに事例を読み、本人の死後、家族に及ぼす身体的・精神的影響や必要とされる支援は何か各自考え、レポートを作成しておいてもらいます。授業では、レポートを基にグループに分かれて発表・意見交換を行っていきましょう。

※事前に作成したレポートとリアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

☆第15回テーマ：デスカンファレンス☆

達成課題の達成度

日時：2月24日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：デスカンファレンスの目的を理解し、看取りケアの質を高めるデスカンファレンスの内容を考えることができる。

達成課題：デスカンファレンスの目的を理解し、今後の看取りケアの質を高めていくためにどのような内容を話し合ったらよいか考えることができる。

内容：デスカンファレンスについての講義後、グループに分かれ、デスカンファレンスではどのようなことを振り返り、評価したらよいか考えてみましょう。

※リアクションペーパーは授業後に提出してもらいます。

☆第16回テーマ：筆記試験☆

日時：3月3日(木)13:00~15:00

持ち物：筆記用具

学習目標：介護福祉士に求められる看取り介護の実践について説明できる。

達成課題：介護福祉士に求められる看取り介護の実践について説明できる。

内容：介護福祉士に求められる看取り介護の実践について1000字以上でレポートを作成してもらいます。



毎回の授業に共通すること

- この科目は、介護福祉士として働くときに、実際に使える知識・技術を習得することを目指します。
そのため、皆さんが授業に**主体的に参加**できることを大切にします。
一人ひとりが持っている様々な意見や考え方を共有することで学びが深まりますので、ぜひ積極的に授業に参加してください。
- この科目は、これまで学習した自立に向けた移動の介護や身支度の介護、食事の介護、入浴・清潔保持の介護、排せつの介護などが関連します。
また、こころとからだのしくみの科目とも連動しています。
学んだことを復習し、この科目の前には予習しておくことが大切です。
- 授業で配布された資料を読む以外に、以下のような方法でも予習・復習してみてください。
 - ・図書館のパソコンで自分が気になる・わからない用語を調べ、関連する図書を借りてみる。
 - ・CiNii・医中誌で気になる用語を入れ、論文を読んでみる。
 - ・調べた論文の参考文献からさらに気になる論文を読んでみる。
- リアクションペーパーには、その日に学んだことや感想、質問などを記入してもらいます。
B5用紙 1 枚程度です。

研究室：A—〇〇〇

Mail：〇〇〇@〇〇.〇〇

質問や相談など遠慮なくしてください！

